

日弁連会長選挙 司法改革で火花

候補者3人 あす投票

山正剛氏(71)、久保利英明氏(61)、高山俊吉氏(65)の3人。

平山氏は、日本で最多の4848会員を誇る東京弁護士会の元会長。これに対し、企業法務の専門家として有名な久保利氏は、東京、大阪に次ぐ2964会員の第二東京弁護士会の元会長だ。

両者とも法律家の数を増やす司法改革の基本方針には賛成だが、来年、新規登録する弁護士が倍

増する「2007年問題」を前に、弁護士の職域を広げる方を強調。平山氏は「弁護士業務総合推進センターを設置する」、久保利氏は「業務拡大のための法改正の口

ビー活動や諸団体との交渉などに実行力を発揮する」と訴えている。

一方、東京弁護士会所属の高山氏は4度目の立候補。司法改革に一貫して反対し、裁判員制度にも「憲法の定める(被告人の)刑事基本権を踏みにじる」と反対している。

日本弁護士連合会(梶谷剛会長、会員2万2049人)の次期会長選が10日、全国52の弁護士会で一斉に投票される。即日開票される。新会長の任期は今年4月からの2年。司法制度改革を進める勢力が二つに分裂。18年ぶりに三つともえの選挙となり、激戦が展開されている。

立候補しているのは平